

国際資源学部

国際資源学部は、資源生成メカニズムの解明から資源探査、開発・生産までを対象とした理工系分野と、資源国の政策・文化や資源経済などを対象とした人文社会系分野からなり、資源を網羅的に学ぶことができる我が国唯一の「資源学」を対象とした学部です。世界の第一線で活躍する教授陣を結集し、世界をフィールドに、資源の最先端を学びます。国内外の大学や企業、研究機関との強力な連携体制のもと、国際舞台で活躍できる資源人材を養成します。

当学部で実施する英語による専門科目の講義や学生全員が参加する約4週間の海外資源フィールドワークは多くの学習時間を必要としますが、学生の皆さんには高い国際性と専門性が身につきます。結果として、2014年の学部創設から現在まで多くの卒業生が国際的な資源ビジネスに取り組む企業に就職しています。資源学のスペシャリストになり、我が国の将来への貢献を目指す皆さんと秋田でお会いできることを楽しみにしています。

学部の構成(1学科) 【国際資源学科】

地球規模の資源問題解決に向けて、国際的な視野をもち、実践的能力を育みます。

●資源政策コース(文系)

資源を取り巻く国際情勢や政策を理解し、関連する国際法や資源経済、資源国との契約や交渉術、その背景となる資源国の文化などについて学びます。

●資源地球科学コース(理系)

世界を対象とした資源分野の予測と新たな地球資源の可能性を探究するため、地質学、鉱床学などの最先端地球科学を基礎とした地球史をダイナミックに考察します。

●資源開発環境コース(理系)

資源・エネルギーの探査・開発、生産手法から、製錬・リサイクル技術や環境保全に至るまで、資源開発と地球環境との関わりを包括的に学びます。



カリキュラムの特色

学年	学部共通科目	資源政策コース	資源地球科学コース	資源開発環境コース	基礎	発展	実践
1年次	<ul style="list-style-type: none"> ● I-EAP(集中大学英語) ● 資源開発環境学概論 ● 国際関係論概論 ● 資源地質学概論 	教養教育科目 <ul style="list-style-type: none"> ○ 初年次ゼミ ○ 主題別科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会・人間と文化・科学の探究 ・ 生活と保健・地域志向・キャリア形成・技能の活用 ○ 国際言語科目 ○ スポーツ文化科目 	基礎教育科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際資源外交史 ・ 異文化コミュニケーション ・ 資源開発と人権問題 ・ ミクロ経済学 ・ マクロ経済学 ・ 日本の国際協力 ・ 基礎統計学 	<ul style="list-style-type: none"> ・ I-EAP Certificate ・ 基礎数学 ・ 基礎物理学 ・ 基礎化学 ・ 基礎物理学実験 ・ 基礎化学実験 	資源学を学ぶ上で基礎となる知識を習得する。	学修科目のうち、基礎科目を履修し、その後の専門科目を履修するための準備をする。	海外における実践的な学びをより世界の資源分野に特化したフィールドワークを通じて行う。
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ● 資源政策学概論 ● 地球科学概論 	資源学実習 地質巡検の実施、鉱山・精錬所・リサイクル施設への訪問(全学生必修)	資源政策コース専門科目 <ul style="list-style-type: none"> ● 資源政策論 ● 環境経営学 ● 国際開発論 ● 交渉学 ● エネルギー地政学 ● 資源地域研究 ● 資源動向論 ● 国際情勢分析論 ● 鉱業法 ● 資源経済学 ● 環境経済学 ● 応用資源地域研究 ● 国際協力特別講義 ● 専門プレゼンテーション技法 ● 資源開発生産論 ● リサイクルシステム学 等 	資源地球科学コース専門科目 <ul style="list-style-type: none"> ● 地史学 ● 石油地質学 ● 鉱物学 ● 鉱物学実験 ● 岩石学 ● 岩石学実験 ● 地球物理学 ● 古環境解析学 ● 構造地質学 ● 石油鉱床学実験 ● 地史解析学実験 ● リモートセンシング地質学 ● 岩石鉱物鉱床実験 ● 専門プレゼンテーション技法 ● 物理探査学 	資源開発環境コース専門科目 <ul style="list-style-type: none"> ● 材料力学 ● 流体力学 ● 物理化学 ● 分析化学 ● 地球物理学 ● 工業製図 ● 地球化学 ● 地球化学 ● 石油生産工学 ● 粉体・界面工学 ● 機器分析学 ● 金属鉱床学 等 ● 資源処理工学 ● 資源探査学 ● 工学基礎実験 ● 岩石力学 ● 物理探査学 ● 測量学及び実習 ● 計算機プログラミング ● 地熱工学 ● 素材開発工学 ● 岩盤工学 ● リサイクル・廃水処理工学 ● 製錬プロセス工学 ● 専門プレゼンテーション技法 ● 資源経済学 等 	学修科目のうち、基礎科目を履修し、その後の専門科目を履修するための準備をする。	海外における実践的な学びをより世界の資源分野に特化したフィールドワークを通じて行う。
3年次	<ul style="list-style-type: none"> ● 国際資源クリエイティブ演習 ● 資源地域社会学概論 	海外資源フィールドワーク (全学生必修)	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究プロポーザル 等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 応用金属鉱床学 ● 応用鉱物学 ● 研究プロポーザル 等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 資源開発環境文献講読 ● 研究プロポーザル 等 	海外における実践的な学びをより世界の資源分野に特化したフィールドワークを通じて行う。	海外における実践的な学びをより世界の資源分野に特化したフィールドワークを通じて行う。
4年次	<ul style="list-style-type: none"> ● 必修科目 	卒業課題研究				海外における実践的な学びをより世界の資源分野に特化したフィールドワークを通じて行う。	海外における実践的な学びをより世界の資源分野に特化したフィールドワークを通じて行う。

I-EAP(集中大学英語)
「I-EAP」とは、Intensive-English for Academic Purposesの略。英語力を「読む(reading)」「聞く(listening)」「書く(writing)」「話す(speaking)」「プレゼンテーション(presentation)」の5つの技能に区分し、8週間一区切りで個別技能の教育を行う集中講座。授業は全て英語で行い、技能ごとの目的に合った教材を担当教員が選定し、少人数編成のクラスで基礎英語力を徹底的に鍛えます。

**ディスカッション演習
ディベート演習
プレゼンテーション技法**
実際に英語で議論ができるようになることを目標に学習を進めていきます。語学力の面でも、国際的な最前線で戦える力を身に付けます。

国際資源クリエイティブ演習
全学生必修の海外資源フィールドワーク(鉱山・石油関連企業や商社・国際協力機関等での4週間程度の実習)の目的を理解し意義あるものにするため、事前・事後学習の場としての国際資源クリエイティブ演習を設けます。